

「農地まわりの外来種調査」ご協力のお願い

日ごろから、魅力あふれる農村環境づくりに格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、例年、多面的機能支払交付金事業の共同活動・生態系保全「生き物の生息状況の把握」の取り組みとして生きもの調査の実施をお願いしているところですが、今年度は「農地まわりの外来種調査」について実施をお願いしたいと考えております。

この調査は、昨年度の外来アカウキクサ調査の結果を踏まえ、より幅広く外来種の分布状況を把握することによって、今後の外来生物対策の取り組みに活かすことを目的としています。

独自の取り組みを計画されている組織や共同活動を実施されていない組織につきましても、実施可能な範囲でご協力をお願いいたします。

1. お送りした書類

- 調査シート
- 集落地図
- 生きものシール

2. 調査・報告の方法

① 「調査シート」への記入

外来種による影響などについてのアンケートです。聞き取りなどによりご回答ください。

② 「外来種マップ」の作成

地図上で調査対象の外来種を見たことがある場所にシールを貼ってください。



8月31日(月)までに上記2点を農都環境課、または各支所までご提出ください。

3. 備考

- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、集会等を自粛されている場合は、代表者・役員ら少人数での調査、①調査シートのみでの回答など、可能な範囲でのご協力をお願いいたします。

4. この調査についてのお問い合わせ先

丹波篠山市 農都創造部 農都環境課(第2庁舎2階) 担当:菅原・岡

TEL:079-552-1117 MAIL:kankyo_div@city.sasayama.hyogo.jp

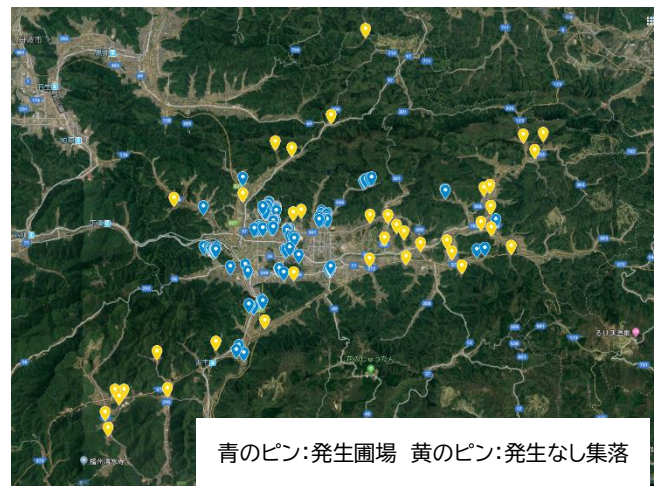
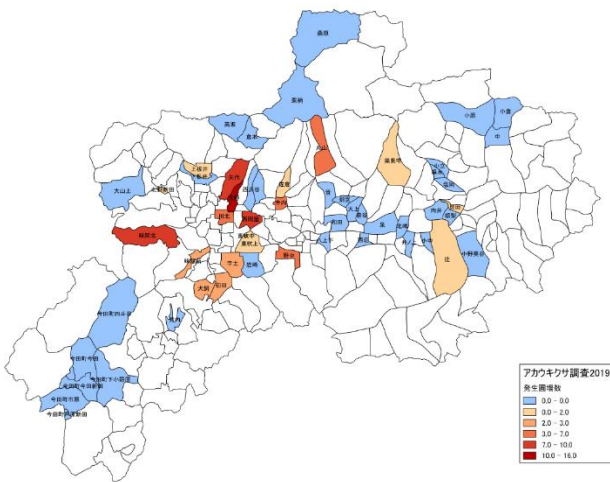
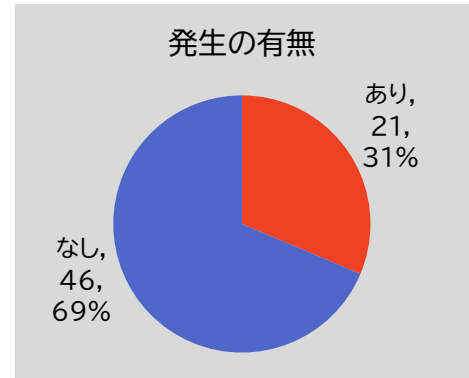
【参考】令和元年度の生きもの調査の結果

昨年度は「外来アカウキクサの分布状況調査」の実施をご依頼したところ、67 集落に回答いただきました。ご協力ありがとうございました。調査の結果を報告させていただきます。

1. 調査結果の概要

67 集落から回答をいただきました。外来種のアカウキクサが発生していたのは 21 集落 97 圃場、発生していなかったのは 46 集落でした。篠山盆地の平野部で多く発生していたものの、一部の谷あいの集落でも発生していました。

在来種のオオアカウキクサは山際の湿田に生育することが知られており、山間部で発生していたものは在来種だった可能性もあります。



2. 今後の取り組み

丹波篠山市には、日々きれいに維持管理された農村やそこで採れる農作物などを楽しみに年間約 240 万人の観光客が訪れています。そうした中で、田んぼの水面を真っ赤に染めてしまう外来アカウキクサは、せっかくの景観価値を損ないかねません。

市では調査結果を踏まえ、外来アカウキクサの効果的な駆除方法を探るための実証実験を今年度から行っています。今回の調査の結果もあわせ、引き続き外来種に関する情報収集や被害対策、駆除に取り組まれる農家・地域に対する支援を行っていきます。